

【韓国】政府、学生の遠隔教育環境構築支援を継続的に拡大中

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、政府が遠隔教育環境構築に必要な支援を進めている。

科学技術情報通信部は教育部や通信キャリア 3 社と協議して、スマホでのゼロレーティングで教育放送 EBS 等の主な教育サイトを利用できるよう支援する。3 月 16 日から 5 月末まで、臨時措置としてデジタル教科書や教育サイトの利用はゼロレーティングを適用。さらに、4 月 9 日から、モバイル端末から EBS 教育サイトへの接続は誰でもゼロレーティングが適用される。

キャリア 3 社が提供する IPTV では追加料金なしで、学年別教育コンテンツをリアルタイムで視聴する放送チャンネルを新規編成。これに引き続き、4 月 6 日から、EBS の TV 講義を IPTV だけでなく CATV と衛星放送にも拡大することになった。韓国では全世帯の 93% が有料放送に加入している（2019 年末基準：2019 年放送媒体利用形態調査）。

低所得層世帯の児童向けのスマートデバイス貸与については、サムスン電子と LG 電子がそれぞれスマートパッドを供給する計画。

教育部は教室内の Wi-Fi 整備と同時に各教育庁と一緒に教師の遠隔事業に必要な機材を即時支援する計画。